

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

グループの総合力を最大限に高め、社会のニーズにタイムリーに応える事業活動を展開し、盤石な経営基盤を構築して社会的貢献を希求する。

ROE目標
8%

Smart Mate
5件

運転資金圧縮
70億円

DOE目安
3%

② 中長期の経営戦略

1. 事業ポートフォリオ入替え

顔料級酸化チタン事業を2026年3月期に終了。成長事業へのリソース集中とM&Aによる拡大を進める。

3. 研究開発投資加速

Smart Material®認定製品・サービスを2030年度までに5件上市。環境・エネルギー、エレクトロニクス、ライフサイエンス・ヘルスケア分野で貢献を目指す。

2. 成長事業の強化

電子材料はハイエンド・ミドルエンド品のシェア拡大。化粧品材料は超微粒子酸化亜鉛で欧州需要取り込み。有機化学品はメガネレンズ材料を強化。

4. 資本効率の向上

キャッシュコンバージョンサイクル改善で中期経営計画期間に運転資金70億円圧縮。有効活用されていない固定資産売却を実施。

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性対応

- ・ 中国景気低迷やサプライチェーン混乱への対応
- ・ 原燃料高騰と円安による製造コスト上昇への対策
- ・ 相互関税によるインフレ進行と景気後退への備え

② 事業別の成長課題

- ・ 化粧品材料：中国市場の消費落ち込み影響。欧米への拡販強化と新工場による新市場進出
- ・ 電子材料：中国景気低迷や車載機器関連市場減速。ハイエンド・ミドルエンド市場でのシェア拡大
- ・ 衛生材料：円安、中国品の価格攻勢、少子化への対応。付加価値の高い製品開発

③ 構造改革と事業終了

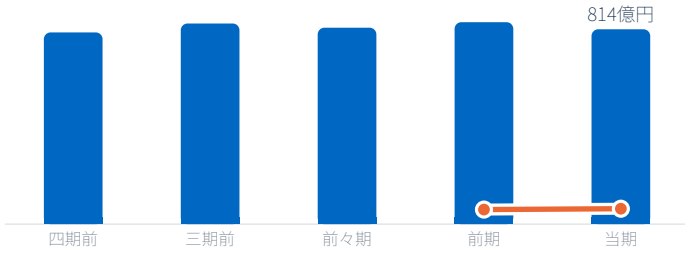
- ・ 顔料級酸化チタン事業の2026年3月期終了に向けた構造改革実施
- ・ 医療事業：GQP・GMP体制立て直しと組織文化変革。薬価改定影響を受けない新規事業育成
- ・ 効率化検討事業：安定事業への移行を目指し、操業の安定化と効率化に継続的に取り組む

面接で使えるポイント

- ・ 2030年を目指す中期経営計画『変革・BEYOND2030』で…
- ・ 電子材料、化粧品材料、有機化学品の3つの成長事業へ経営資源を集中投下し、市場成長を超える成長を実現する方針
- ・ 品質・安全問題の重大インシデントを経て、グループ全体で再発防止と品質体制の立て直しに重点的に取り組む体制を整備

証券コード 4078

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
81.4億円営業利益率
7.9%財務健康度
56点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 52.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
654万円

化学内 134位/204社

平均年齢
41.7歳

化学内 117位/204社

平均勤続
16.5年

化学内 86位/204社

女性管理職
3.5%

化学内 141位/173社

男性育休
57.1%

化学内 129位/154社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ゼナーアセットマネジメントエルエルピー(Zennor Ass

